

「里海フォーラム in とよはし」からのメッセージ

私たちを取り巻く沿岸海域は、古くから豊かな海の幸を与えてくれる漁場として、あるいは良好な港を抱えた交通・物流の要衝として地域の人々の生活を支えるとともに、潮干狩りや海水浴、あるいは風光明媚な観光の地として多くの人に親しまれ、様々な文化を育み、多くの人々に心の安らぎと生きる糧を与えてくれました。

しかしながら、近年、閉鎖性の高い海域の多くでは、陸域からの生活排水などの流入に加え、外海との海水の循環が起こりにくいため、水質汚濁の改善が進まず、依然として、赤潮や青潮（苦潮）が発生し、水産動植物へ大きな影響を与えるなど、かつての美しく恵み多き母なる海の姿が失われようとしています。

私たちには、こうした沿岸海域について、かつての美しさと生物の多様性を取り戻し、「里海」として、豊かで恵まれた環境、生活を創造し、未来へ引き継いでいく使命と責務があります。

まさに今、2010年10月は、ここ愛知県においてCOP10（生物多様性条約第10回締約国会議）が開催されている時であり、国際規模で、地球上の多様な生物をその生息環境とともに保全することを目的に、これまでの評価とその後目標が議論されています。

本日、ここ、愛知県豊橋市に参集した方々が、それぞれの地域で閉鎖性海域の環境保全を目的に活動を行ってきた方々のお話を聞き、水質浄化や生物多様性に向け、情報交換を行うことは、大変有意義なことでありました。

このフォーラムをさらなる契機として、それぞれの地域にとってかけがえのない「里海」を、明日の世代に引き継ぎ、豊かで恵まれた環境を創造するための活動を一層積極的に展開していきましょう。

2010年10月20日

里海フォーラム in とよはし